

いちよう「学校だより10月号」〈第50号〉生き生きと学び合う学校

＜目指す生徒像＞

考える生徒
やりぬく生徒
助け合う生徒

栃木市立藤岡第一中学校 電話(62)2598
栃木県栃木市藤岡町藤岡10
平成26年10月20日発行 文責:鈴木久一

全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査から

4月に行われた全国学力・学習状況調査や、とちぎっ子学習状況調査を基に、本校の学力・学習状況の分析と総合的な見直しを行いました。3年生では、国語、数学とも[A:主として知識]が全国平均を上回り基礎学力が定着しているものの[B:主として活用]では全国平均を僅かに下回り、文章を読んだ感想や自分の考えを書いたり、図形やグラフから数学的に説明する力が少し不足していることがわかりました。2年生では5教科とも栃木県の平均よりやや低く、基礎的・基本的な事項が少し足りないことがわかりました。

この結果を受け、3年生では基礎力をさらに高め、応用力をつけるために、土曜学習や放課後の居残り学習を行っています。2年生では学習の到達度の個人差が大きい数学や英語では、自分にあった学習方法が選べるようにしたり、ひとつの授業に2人で教えるT・Tの体制や、朝の自習では個別に支援できるシステムを取ったりと、基礎的・基本的な力が身に付くように様々な学習支援の方法を実施したり、家庭学習の定着・充実を図る学年での取り組みをしています。さらに、本年度は栃木市から学力向上推進校の指定を受け、先生方の授業力を向上させるための研究を行い、教師一人一人が日々の自分の授業を振り返り、より分かる授業、充実した授業を目指して、授業改善に取り組んでいきます。

(1) 朝食を毎日食べていますか

	食べている	どちらかといえば食べている	あまり食べていない	食べていない
栃木県	86.3	8.7	3.7	1.3
3年生	87.5	9.4	3.1	0.0
2年生	87.0	8.0	3.0	2.0

(2) 自分には、よいところがあると思いますか。

	ある	どちらかといえば、ある	どちらかといえば、ない	ない
栃木県	27.6	45.0	20.4	6.9
3年生	14.6	56.3	21.9	6.3
2年生	19.0	49.0	24.0	8.0

(3) 将来の夢や目標を持っていますか。

	持っている	どちらかといえば持っている	どちらかといえば持っていない	持っていない
栃木県	49.6	26.3	16.5	7.5
3年生	44.8	21.9	21.9	11.5
2年生	58.0	19.0	14.0	9.0

毎日朝食を取って登校している生徒が多く、朝食を取ることで午前中の脳が活性することは医学的にも証明されていて、このことを各家庭で守っていただき本当に感謝いたします。自分に良いところがある、将来の夢や希望があるでは、栃木県の平均よりも低い数字になりました。生徒主体の活動や学校行事等で自己肯定感や自己有用感を持たせ、自尊感情を高める支援や、キャリア教育等に力を入れていますが、さらに工夫・改善を行い、自己の夢や目標が持てる教育を進めていかなければならないと強く感じました。

(4) 1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師含む)

	全くしない	30分以下	30分から1時間	1時間以上2時間	2時間以上3時間	3時間以上
栃木県	4.6	7.6	16.9	35.6	27.3	8.0
3年生	4.2	13.5	19.8	37.5	16.7	8.3
2年生	3.0	9.0	20.0	41.0	27.0	0.0

(5) 普段(月～金曜日)、1日どれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聴いたりしていますか。

	4時間以上	4時間～3時間	3時間～2時間	2時間～1時間	1時間以下	全くしない
栃木県	15.3	15.9	26.2	26.9	14.3	1.4
3年生	18.8	16.7	27.1	25.0	10.4	2.1
2年生	26.0	13.0	28.0	19.0	11.0	2.0

(6) 普段(月～金曜日)1日どれくらい携帯やスマホで通話やメール、インターネットをしていますか。

	4時間以上	4時間～3時間	3時間～2時間	2時間～1時間	1時間以下	持っていない
栃木県	8.2	7.7	11.3	13.8	25.7	23.5
3年生	8.3	14.6	13.5	20.8	16.7	26.0
2年生		25.0	5.0	30.0	37.5	59.0

家庭学習が1時間も満たない生徒が非常に多いのには驚きました。学校で学んだことを家で復習する、宿題をやっていくというのは当たり前なのですが、本校では「学力の向上」に力を入れ、「分かりやすい・充実した授業」を心掛け、生徒一人一人の学力を向上させるための取り組みをしています。ご家庭でも、家庭学習の習慣化を図っていただき、学習したことをすぐに家で復習する習慣を付けていただければと思います。また、テレビ等の視聴やスマートホン等でのネットや通話に多くの時間を費やしている生徒が多いのにも驚きました。栃木市では携帯電話を持たせない協力をお願いしています。便利でよいかもしれませんが判断力の劣る子ども達に安易に持たせるのは禁物です。どうぞご理解、ご協力お願いいたします。

しもつけ新聞塾が開催されました



10月3日（金）に、下野新聞社の協力により、3年生対象に「しもつけ新聞塾」が開催されました。この学習は、新聞記事から地域を知るための情報や発信の仕方などを学ぶことがねらいです。最初に新聞の構成や読み方についての話を聞いた後、新聞スクラップの作り方についての説明



を受けました。その後、子ども達は興味のある記事を選び、新聞スクラップ作りを行いました。特に、ふるさと藤岡についての記事に注目し、情報の発信の仕方など楽しく学びました。

＜興味のある記事を探す＞

渡良瀬遊水地を知る（ふるさと学習講話）

1年生は10月10日（金）に栃木市教育委員会文化課にお勤めしている尾島先生を講師としてお招きして、渡良瀬遊水地についてのお話を聴きました。遊水地の役割や歴史などについて多くのことを学びました。この後自分が興味を抱いた歴史や自然、地場産業等について詳しく調べたり体験したりする学習に入っていきます。自分が生まれ育った藤岡の自然・歴史や文化を調べたり、体験を通して地域の人達と交流することでふるさと藤岡を再確認したり、地域の人達に対しての親しさや感謝の気持ちが育てればと思います。



＜渡良瀬遊水地についての講話＞



第1学年授業参観・PTA講演会がありました

10月14日（火）に第1学年の授業参観そして、1、2年生を対象の進路学習講演会がありました。授業参観では多くの保護者が熱心にクラスの雰囲気やお子様の様子を観察して下さいました。学級の様子やお子様の授業態度、教師の指導力は



＜授業参観のようす＞

如何だったでしょうか。その後、(株)ブルーヒルズの取締役社長の陳賢徳氏による「生きる、働くとは何か」の講話がありました。将来に向けて、今できることは何か、を考えさせてくれるよいお話しでした。生徒の聴く態度がとても立派だったこと、メモを一生懸命に取っている姿に感動され、お帰りになりました。＜陳賢徳氏の講話を熱心に聴く生徒＞

若き職業人との交流会がありました

10月2日（木）1、2年生を対象にキャリア教育の一環として地元で活躍している「若き職業人との交流会」を実施しました。生徒の希望する11の職業（大工、美容師、調理師、デザイナー、自動車整備士、看護師、スポーツインストラクター、消防士、保育士）の方に来校していただき、仕事の内容を映像や現場で使っている物での実演でわかりやすく説明していただき、さらに働く喜びや苦勞、現在の職業に就いた理由など、お話しをしてくださいました。2年生は、7月に行った職場体験学習(マイ・チャレンジ)を通して、働くことの意義を考え、進路や職業選択を真剣に考えるようになったこの時期に、1年生は夏休みの職場見学で勤勞観・職業観を学び「若き職業人との交流会」を開き、自己実現のための取り組みや仕事に就くことの意義をもう一度学ぶ機会として、設定しました。



＜デザイナー＞

特に、藤岡一中の先輩達から直接、現在就いている職業を選んだ理由や動機、そのために今何をしておくべきかを聴くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

＜消防士＞

＜パティシェ＞

＜保育士＞

＜美容師＞

